日本輸血細胞治療学会誌投稿規定

（2022 年 10 月 27 日改訂）

1. 目的：

日本輸血細胞治療学会誌（Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy，以下本誌と略す）は，日本輸血・細胞治療学会の機関誌で，輸血ならびに細胞療法に関する新しい知見と教育的内容を提供するものです．輸血療法については，輸血療法に係わる全ての事柄を対象とします．細胞療法については，採取，処理，保存・管理，輸注，測定ならびにこれらに関係する事柄を対象とします．

2. 投稿方法：

本誌は，オンライン投稿システム（ScholarOne Manuscripts）を導入しています．学会ホームページよりアクセスしてご投稿ください．投稿した論文に関する情報は，投稿サイトにアクセスすれば，いつでも閲覧可能です．投稿に際し，投稿サイトのログイン画面に，日本輸血・細胞治療学会のユーザー ID（E-mail アドレス）とパスワードを入力しログインしてください．投稿サイトにあります「投稿マニュアル」をよく読んでからご投稿ください．

3. 投稿資格と条件：

筆頭著者は，日本輸血・細胞治療学会の会員に限ります．他誌に掲載されたもの，または投稿中のものは受付けません．受付可能な論文記事（二次掲載，acceptable secondary publication）については，10．論文の作成（2)—13 の論文記事（二次掲載）をご覧ください．

4. 倫理指針：

人を対象とした研究は，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って行われたものでなければなりません．遵守すべき指針に，①人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針，②遺伝子治療等臨床研究に関する指針，③手術等で摘出されたヒト組織を用いた研究開発の在り方，④厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針，⑤異種移植の実施に伴う公衆衛生上の感染症問題に関する指針，⑥ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針，⑦ヒト受精胚に遺伝子改変技術等を用いる研究に関する倫理指針があります．詳細は，厚生労働科学研究に関する指針（http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/）をご覧ください．

また，「臨床研究法」では，臨床研究実施の手続，認定臨床研究審査委員会による審査意見業務の適切な実施のための措置，臨床研究に関する資金等の提供に関する情報の公表の制度等を定めており，本法が定める「特定臨床研究」に該当する場合には厚生労働大臣の認定を受けた認定臨床研究審査委員会の承認を得ていなければなりません．

著者はこれらの倫理指針に従った手続きが完了していることを確認してから投稿してください．

5. 個人情報の保護：

2005 年 4 月に施行された個人情報保護法を受け，症例報告などで患者個人を特定できないようにする義務が課せられるようになりました．編集委員会としては，以下の対応を取りますのであらかじめご確認の上，遵守してください．

①患者個人の特定が可能な氏名，カルテ番号，イニシャルは記載しません．年齢と性別の記載は可です．
②患者の住所は記載しません．
③日付は，○年○月までとし，日は記載しません．
④今までに診断や治療を受けた診療機関名やその所在地は記載しません．
⑤顔写真を提示する際は目を隠します．
⑥生検，剖検，画像情報のなかに含まれる番号などで患者個人を特定できるものは削除します．

6. 利益相反（Conflict of Interest, COI）：

筆頭著者は共著者の COI を確認の上，申告すべきものがなくても投稿サイトで COI 申告書の提出が必要です．申告すべき COI の概要は本学会ホームページの「利益相反（COI）に関する指針」を参照してください．

（1）COI 申告開示の記載場所

投稿者は著者全員の COI を確認後，投稿サイト内で COI 申告書を提出するとともに，投稿原稿の本文のすぐあとに COI を記載し，その後に謝辞，引用文献の順とします．

（2）COI 開示の仕方

1）**COI 申告開示のない場合**：「著者の COI（Conflict of Interest）開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし」などと記載します．

Presented by Medical*Online

2）**COI 申告開示のある場合**：報酬，株式利益，特許使用料，講演料，原稿料，研究費・助成金，寄付金，寄付講座，旅費・贈答品，関連企業・関連組織の被雇用者の順番で，著者名ごとに論文発表内容に関連し，COI 状態にある企業・組織または団体名を記載します．例えば，「著者の COI（Conflict of Interest）開示：輸血太郎；講演料（XX 主催 YY 輸血講演会），輸血花子；研究費・助成金（血液製剤製薬），輸血次郎；「研究の対象となった製剤を販売している日本赤十字社の職員である．」等．

7. 著作権：

本誌に掲載された論文の著作権（Copyright）は，日本輸血・細胞治療学会に帰属します．

8. 論文の採否：

投稿された論文は，編集委員が指名した２名の専門家によって厳正に査読され，その結果を踏まえ編集委員会で採否が決定されます．論文が編集委員会に届いた日を受付日，採択と決定した日を受理日とします．審査の結果，修正を求められた場合には，査読者ならびに編集委員会の意見に従い修正し，再投稿をお願いします．

9. 論文の種類：

総説，ガイドライン，原著，短報，症例報告，Picture in Transfusion Medicine & Cell Therapy，Open Forum，活動報告，編集者への手紙，論文記事から構成されます．

10. 論文の作成：

(1) 論文の形式

1）**総説**：輸血・細胞療法に関する知見を広くまとめたものです．一般公募の他，学術総会での教育講演の内容もここに掲載されます．

2）**ガイドライン**：日本輸血・細胞治療学会が発行するガイドラインを掲載します．ガイドラインの内容はあらかじめ本学会理事会または理事運営委員会の承認を受けたものでなければなりません．投稿前に事務局へご連絡ください．

3）**原著**：原則として輸血・細胞療法に関する新しい知見を含んでいる基礎研究または臨床研究です．

4）**短報**：新知見を含んでいますが，内容が原著に記載するほど豊富でないものが該当します．

5）**症例報告**：提示された症例に，輸血・細胞療法について示唆に富む臨床的に有用な情報が含まれていることが必要です．

6）**Picture in Transfusion Medicine & Cell Therapy**：提示された症例に，輸血・細胞療法に関する臨床的または教育的に有用な情報が含まれていることが必要です．タイトルは，「事象」のみ，または「～による事象」のような簡潔明快なものとし，「～の一例」の表現は使いません．必ず図または表を１つ提示します．図のタイトルと説明は不要です．図はカラー印刷も可でカラー印刷代は無料です．表のタイトルと説明文は必要最小限に留めてください．

7）**Open Forum**：輸血・細胞療法に関する仮説，既知のエビデンス，ガイドライン，認定制度に対する意見，新たな臨床試験の立ち上げの紹介などを提示する場です．本学会への意見や本誌で発表された論文に対する意見は該当しません．本文の書式は自由です．

8）**活動報告**：輸血・細胞療法の実務に資する客観的情報を含んでいることが必要です．アンケートによる実態調査の他，合同輸血療法委員会や院内の輸血療法委員会の活動報告，当学会認定の臨床検査技師や看護師の活動報告などが該当します．但し，全国レベルの実態調査は原著として扱います．原則として，原著と同じ構成（はじめに，方法，結果，考察）で記述します．

9）**編集者への手紙**：本誌に掲載された論文に対する意見を述べる場です．

10）**論文記事**：下記の（2)—13）をご参照ください．

11）**英文論文**：英文論文の場合は，英文抄録の他に和文抄録を付けてください．本文の英文文字数は 4000 語（単語数）以内とします．投稿前に必ずネイティブまたは英語に堪能な方の英文校正を受けてください．

(2) 論文の構成

1）**内容**：論文は，以下の項目の順で作成します．和文表紙，和文抄録，英文表誌，英文抄録，本文，図の説明（legend），表，図．

a）総説：表紙，和文抄録，英文表紙が必要です．

b）原著：表紙，和文抄録，英文表紙，英文抄録が必要です．

c）ガイドライン：表紙，英文表紙が必要です．

d）短報：表紙，和文抄録，英文表紙，英文抄録が必要です．

e）症例報告：表紙，和文抄録，英文表紙，英文抄録が必要です．

f）Picture in Transfusion Medicine & Cell Therapy：表紙，英文表紙が必要です．

g）Open Forum：表紙，英文表紙が必要です．

Presented by Medical*Online

h）活動報告：表紙，和文抄録，英文表紙が必要です．

i）編集者への手紙：表紙，英文表紙が必要です．

j）論文記事：表紙，和文抄録，英文表紙が必要です．

2）原稿のサイズ：原稿は，A4判白用紙を使用し，フォントサイズは12ポイント，横書き30字×25行（750字）で印字してください．

3）文字数，図表，文献，キーワード：原稿の文字数や含める図表の数などについては，下記の表に従ってください．

	本文原稿文字数#	和文抄録文字数#	英文抄録単語数#	図表#	文献数	キーワード
総説	8,000字	500字	不要	10個	50個	必要
ガイドライン	制限なし	不要	不要	制限なし	制限なし	必要
原著	6,000字	500字	200語	10個	30個	必要
短報	1,600字	500字	100語	2個	10個	必要
症例報告	4,000字	500字	200語	5個	20個	必要
P in TM & CT	500字	不要	不要	1個	3個	必要
Open Forum	4,000字	不要	不要	5個	20個	必要
活動報告	5,000字	400字	不要	7個	20個	必要
編集者への手紙	1,200字	不要	不要	1個	3個	必要
論文記事	制限なし	制限なし	不要	制限なし	制限なし	必要

は，最大数です．本文原稿文字数に，表紙，和文抄録，英文抄録，図表，文献は含めません．
P in TM & CT, Picture in Transfusion Medicine & Cell Therapy.

4）表紙：1枚目の上段に原稿の種類を，中段に論文の表題，著者名，所属施設（研究が実施された施設，現所属と異なる場合は現所属を脚注に記載）を記載します．下段に，著者連絡先（住所，氏名，電話番号，Fax，メールアドレス）を記載します．和文の表題を第1ページとし，フッター中央にページ番号を記載してください．それに続き，和文抄録と和文のキーワードが2ページ目，英文の表題が3ページ目，英文抄録と英文キーワードが4ページ目，本文が5ページ目となります．抄録が無く表紙のみの場合，和文キーワードは表紙の中に，英文キーワードは英文表紙の中に記載してください．表紙の記載については，下記の表紙例をご参照ください．

原著

末梢血幹細胞の輸注に係わる副作用の解析

輸血　太郎、輸血　花子

XXXX病院輸血部

著者連絡先：XXXXXXXX、電話XXXX，FAX XXXX，
E-mail　XXXX

1

Original article

Analysis of adverse effects associated with peipheral blood stem cell infusion

Taro Yuketsu, Hanako Yuketsu

Division of Transfusion Medicine, XXXX Hospital

3

5）抄録：本文内容を要約したものです．簡潔に分かり易く記載してください．原著では，新知見の内容を明記してください．英文抄録は，投稿前に必ずネイティブまたは英語に堪能な方の英文校正を受けてください．投稿された論文の英文抄録に間違いが多い場合には，査読前に著者に返送することがあります．

6）キーワード：5個以内の和文と英文のキーワードが必要です．

7）本文：原著ではイントロダクション，材料と方法，結果，結論，COI開示，謝辞，文献の順で記載します．活動報告も原則としてこれに準じます．イントロダクションと考察の記載の重複にご注意ください．考察に，結論のデータそのものは提示しません．文献報告のまとめや仮説の図表は，考察で提示します．

8）用語：

a）学術用語：日本輸血・細胞治療学会　常用輸血医学用語集（http://www.jstmct.or.jp/jstmct/MedicalInfo/Term.aspx）と「日本内科学会用語集：日本内科学会編」に従ってください．外国語名（人名，薬品名など）は，原語のまま用いてください．日本語化しているものはカタカナとします．商標名を使用する際は®マークやTMマークを付加してください．

b）単位と符号：原則として国際度量衡法（SI）で表記します．
重さに関して：kg，mg，μg，ng，pgなど

Presented by Medical*Online

長さに関して：m，cm，mm，μm，nm など
容量に関して：l，dl，ml，μl，nl，pl，fl など
濃度に関して：g/l，mg/l，mol/l，g/dl など

c）**略語**：論文タイトルには，原則として略語は使用しません．本文中に略語を使用する場合には，初出の箇所に「フルネーム（略語）」と記載し，以後略語を記載します．なお，抄録で使った略語を，そのまま本文で使えません．本文でその略語を使う場合には，改めて本文の初出の箇所に「フルネーム（略語）」と記載し，以後略語を記載します．

9）**図表**：図表のタイトルと内容は，和文表記と英文表記のどちらでも構いません．論文記事では，図表のタイトルと内容は和文表記です．

図表は，引用順に番号をつけ，図は，そのまま印刷製版できるように明瞭な図とし，各種画像作成ソフトで作成してください．図の寸法は，本誌中で用いる大きさの少なくとも2倍の大きさとし，1/2以上の縮尺に耐えられるような充分な大きさの線と文字にしてください．図の説明（legend）は，一括して本文の最後に記載してください．原色版（カラー）は，ご希望により掲載しますが，印刷の実費を申し受けます．（一頁約10万円かかります．写真の掲載点数の多さによっては10万円以上かかる場合もあります．）

10）**謝辞**：研究費助成金に対する謝辞は，助成番号，助成機関の名称を記載します．オーサーシップの観点から著者には相当しないが，研究の遂行にあたり助力を受けた人は謝辞に記載します．

11）**利益相反の開示**：6．利益相反（Conflict of Interest, COI）をご覧ください．

12）**文献**：文献の書き方は，以下のように統一してください．雑誌の省略名は，和文雑誌はその雑誌により決められているものに従い，欧文雑誌はIndex Medicusの略称を用いてください．また，類似の誌名がある場合は，発行地を併記してください．

【和文雑誌】著者名（4名以上は「他」で略す）：論文名．雑誌名，巻数：頁数，発行年（西暦）．

（例）広尾三郎，山田太郎，佐藤花子，他：手術における適正な輸血準備量（MSBOS）．日本輸血学会雑誌，28：242—249，1982．

【和文書籍】

〈単著〉著者名：書名，発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．

（例）広尾三郎：輸血学，西川堂，東京，1981，25—30．

〈共著〉著者名（4名以上は「他」で略す）：書名，発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．

（例）広尾三郎，山田太郎，佐藤花子，他：輸血学の歩み，西川書店，京都，1985，183—189．

〈監修（編集）者がいる場合〉著者名：論文名，監修（編集）者名，書名，発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．

（例）広尾三郎，山田太郎，佐藤花子，他：昭和中期の輸血状況．編者　山田　一，輸血学の歴史，杏林堂，福岡，1995，44—52．

〈改訂版の場合〉著者名（4名以上は「他」で略す）：論文名，監修（編集）者名（4名以上は「他」で略す），書名，版数，発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．

（例）広尾三郎，山田太郎，佐藤花子，他：昭和中期の輸血状況．編者　山田　一，輸血学の歴史，第2版，杏林堂，福岡，1999，44—52．

〈シリーズものの場合〉著者名：論文名，監修（編集）者名，シリーズ名，書名，版数，発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．

（例）広尾三郎，山田太郎，佐藤花子，他：HIV患者への対応．編者　山田　一，現代輸血学体系第1巻　HIV感染，第4版，仙台書店，宮城，2004，245—285．

〈1冊の書籍で引用が複数の場合〉監修（編集）者：〔シリーズ名，〕書名，〔版数，〕発行所，発行地，発行年（西暦）．※〔　〕は該当する時のみ記入．

（例）山田　一編：輸血の歴史，第2版，杏林堂，福岡，1999．

【欧文雑誌】著者名（4名以上は「et al」で略す）：論文名．雑誌名，巻数：頁数，発行年（西暦）．

（例）van der Bruggen P, Traversari C, Chomez P, et al: A gene encoding an antigen recognized by cytolytic T lymphocytes on a human melanoma. Science, 254: 1643—1647, 1991.

【欧文書籍】

〈監修（編集）者がいる場合〉著者名：論文名．〔監修（編集）者名，〕書名，〔版数，〕発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．※〔　〕は該当する時のみ記入．

（例）Cunningham MD: Exchange transfusion. In: Gomella TC, Gorlin JB, eds, Neonatology, 4th ed, Appleton & Lange, Connecticut, 1999, 165—169.

〈共著書で監修（編集）者なしの場合〉著者名：論文名．〔共著者名，〕書名，〔版数，〕発行所，発行地，発行年（西暦），頁数．※〔　〕は該当する時のみ記入．

（例）Cunningham MD: Exchange transfusion.〔Gomella TC, Gorlin JB, Cunningham MD, et al, 〕Neonatology, 3rd ed,

Presented by Medical*Online

Appleton & Lange, Connecticut, 1994, 160—165.

〈1冊の書籍で引用が複数の場合〉編集者名（単著名）：書名，版数，発行所，発行地，発行年（西暦）．

（例）Gomella TC, Gorlin JB, eds: Neonatology, 4th ed, Appleton & Lange, Connecticut, 1999.

【電子文献】

ホームページ名：リンクサイト名．〈改行して〉アドレス（引用した西暦年月）

（例）日本赤十字社ホームページ：血液事業（Blood Programme）．
http://www.jrc.or.jp/active/blood/index.html（2003年6月現在）
※引用した年月の記載は，時間が経つとなくなったり，サイトアドレスが変わったりする場合があるので，必ず入れてください．

13）論文記事（二次掲載）：日本輸血細胞治療学会誌では，他の言語ですでに掲載された原著論文または総説を和文で二次掲載することは二重投稿ではなく正当な掲載と認めますが，以下の事項を遵守してください．

a） すでに掲載された論文であること．

b） 著者は，最初に掲載された論文のコピーまたは別刷と，最初に掲載された論文の版権を有する出版社（学会）の許可証の両方を，投稿前に日本輸血・細胞治療学会編集委員会まで送付してください．

c） 論旨を変えないこと．

d） 執筆者の順は掲載された論文と同一であること．

e） 二次掲載版のタイトル・ページに掲載される脚注には，その論文の全体もしくは一部分がすでに掲載されている旨を明記し，更に初出文献も示すこと．適切な脚注の例を以下に示します．
「This article is based on a study first reported in the［... 雑誌タイトル（完全な典拠情報を添えたもの）...］（訳：この論文記事は，［...］に最初に報告された研究に基づくものである）」．

f） 論文スタイルは，和文論文に準じますが，英文表紙が必要で英文抄録は不要です．詳しくは前述の（2）論文の構成3）文字数，図表，文献，キーワードの表をご覧ください．

11. 著者校正：

原則的として初校のみとし，指定期間内に返送してください．校正は，誤植や脱字にとどめてください．原文の変更，挿入，削除は認めません．

12. 掲載費および別刷：

掲載費は学会誌1ページあたり3,000円です．事務局から依頼した総説，Picture in Transfusion Medicine & Cell Therapy，編集者への手紙，ガイドラインは無料です．別刷は，50部単位で実費作成します．著者校正の際に必要部数を記入してください．

13. 二重投稿，盗用，捏造及びCOI開示違反に対する罰則規定：

二重投稿，盗用，捏造，またはCOI開示違反が判明した場合，審査中であれば論文を却下します．掲載後であれば，論文を撤回する旨を紙上に掲載します．当該論文の筆頭者および供著者は，5年間投稿を禁止します．編集委員会が非常に悪質と判断した場合には，著者の雇用主や所属団体へ通知します．

14. 問い合わせ先：

〒113-0033　東京都文京区本郷2-14-14　ユニテビル5階
日本輸血・細胞治療学会編集委員会
電話：03-5804-2611　FAX：03-5804-2612
E-mail：info@mail.jstmct.or.jp

Presented by Medical*Online